

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【公開番号】特開2016-32717(P2016-32717A)

【公開日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2016-015

【出願番号】特願2015-224527(P2015-224527)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月18日(2016.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機の前面側を構成する前扉と、

前記前扉の前面に設けられ、複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記前扉の後面に設けられ、前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材の先端から基端側へ向かって伸びる分割線を挟んで一方側の先端と他方側の先端とが相対的に遠ざかるように前記金属板材の板面に対して前記一方側の先端のみを直角方向へ屈曲させ、基端側へ向かうに従って隙間が狭くなるように形成された不正防止部材を具備し、

前記通過口の開口縁の一部が前記金属板材における前記隙間と連通しており、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

前記通過口の、前記発射位置から発射された遊技媒体の進行方向側の所定部位に前記隙間が位置するように、前記不正防止部材が前記収容部に収容され、

前記前扉が閉鎖された状態になると、前記通過口を介して遊技媒体を前記発射位置に送出可能になり、遊技媒体に設けられた線材を、前記前扉側の前記不正防止部材の前記隙間に誘導可能になる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記通過口は、遊技媒体が通過可能な第 1 開口と、遊技媒体が通過不能であり線材が進入可能な第 2 開口と、が連続して形成されたものである、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

パチンコ機等の遊技機では、本体枠と扉枠との隙間からピアノ線等の細長い不正工具を遊技領域内に侵入させて、受入口への遊技媒体の受入れを検知するセンサを誤作動させたり、遊技領域内に植設された障害釘を曲げたりする不正行為が行われる問題があった。この問題に対して、扉枠を開閉可能に支持する一对のヒンジ機構の間に、弾性変形可能な板状のガイド部を備え、扉枠と本体枠の間にボール等を挿入して隙間を広げようとしても、弾性変形するガイド部によって隙間を覆って不正工具を挿入することができないようにしたものが提案されている（例えば、特許文献1）。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、従来の遊技機では、線材を取り付けた遊技媒体を、通常の遊技媒体と同様に貯留部から遊技領域内へ発射して行うような不正行為については考慮されていなかった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は上記の実情に鑑み、遊技媒体に線材を付着して行われる不正行為を抑止することが可能な遊技機の提供を課題とするものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

遊技機の前面側を構成する前扉と、

前記前扉の前面に設けられ、複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記前扉の後面に設けられ、前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材の先端から基端側へ向かって伸びる分割線を挟んで一方側の先端と他方側の先端とが相対的に遠ざかるように前記金属板材の板面に対して前記一方側の先端のみを直角方向へ屈曲させ、基端側へ向かうに従って隙間が狭くなるように形成された不正防止部材を具備し、

前記通過口の開口縁の一部が前記金属板材における前記隙間と連通しており、
前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、
前記通過口の、前記発射位置から発射された遊技媒体の進行方向側の所定部位に前記隙間が位置するように、前記不正防止部材が前記収容部に収容され、
前記前扉が閉鎖された状態になると、前記通過口を介して遊技媒体を前記発射位置に送出可能になり、遊技媒体に設けられた線材を、前記前扉側の前記不正防止部材の前記隙間に誘導可能になる

ことを特徴とする。

また、本発明とは別に開示する別発明の手段を以下に示す。

手段１：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、

該遊技領域の後端を区画する板状で、正面視該遊技領域内の略中央の位置に形成され前後方向に貫通した開口部を有する遊技パネルと、

該遊技パネルの前記開口部内へ前側から挿入固定されると共に枠状に形成され、前記遊技領域内に打込まれた遊技媒体が枠内へ侵入するのを阻止可能とされたセンター役物と、

該センター役物よりも下側の位置で前記遊技領域内へ打込まれた遊技媒体を受入可能とされ、遊技媒体の受入れにより所定の特典を付与する受入口と、

該受入口よりも上側で前記センター役物の外周の所定位置に開口し、前記遊技領域内へ打込まれた遊技媒体が進入可能とされた進入口と、

該進入口に進入した遊技媒体が放出され、前記センター役物の枠内に開口した放出口と

、

該放出口から放出された遊技媒体が転動可能とされると共に遊技媒体を前記遊技領域内における前記受入口の上側へ放出可能とされ、前端が前記遊技パネルの前面よりも前方へ延出した転動面と

を具備する」ものであることを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００８６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００８６】

このように、本発明によれば、遊技媒体に線材を付着して行われる不正行為を抑止することが可能な遊技機を提供することができる。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】１１２３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【１１２３】

【特許文献１】特開２００８－７３３４０号公報